

新金沢交通戦略

	まちなかゾーン（歩行者・公共交通優先ゾーン）
	内・中環状ゾーン（公共交通利便ゾーン）
	外環状ゾーン（公共交通とマイカーの共存ゾーン）
	郊外ゾーン（住民参加も得ながら適正規模の移動手段の維持・確保を図るゾーン）

東金沢駅の交通結節点機能の強化（バス路線の充実、駅西広場の整備など）



公共交通利用促進条例 (H19.4)

まちなか区域の公共交通利便性向上
マイカー利用抑制の努力義務

公共交通重要路線の設定

パーク・アンド・ライド利用促進

交通不便地域の地区交通計画

(市域全体での取り組み)
公共交通利用の努力義務
金沢バスターリガー方式
意識の高揚

歩けるまちづくり条例 (H15.4)

歩けるまちづくりの推進
(通過交通の排除ほか)

歩けるまちづくりの推進



駐車場適正配置条例 (H18.4)

まちなか駐車場届出制度

パーク・アンド・ライド駐車場の設置

通勤時P&Rの利用促進策の実施（P&R利用者専用特急バスの運行、夜行便の運行、バス専用レーン・PTPSの導入、利用料金の低減ほか）



オンデマンドシステムの導入（西日本JRバス）



駐輪場 凡例	
●	既存駐輪場
パーク&ライド駐車場配置基本指針 凡例	
⬇	通勤用駐車場の選定エリア
自転車放置禁止区域 凡例	
○	自転車放置禁止区域位置

シビア現象の監視及び危険度診断技術の 高度化に関する研究

気象庁

極端な気象現象(シビア現象)の将来変化

地球温暖化により懸念されている現象

- ほとんどの地域で大雨の頻度の増加の可能性が非常に高い
- 強い熱帯低気圧の活動度の増加する可能性が高い

(「気候変動2007:統合報告書 政策決定者向け要約」
文部科学省・気象庁・環境省・経済産業省 訳より)

それらに適応するために必要な研究開発

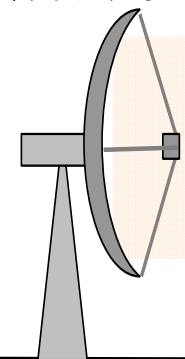
- 集中豪雨、局地的大雨に対する監視・予測の一層の強化
- 強い熱帯低気圧の増加に伴う強風、突風(竜巻を含む)の監視・予測の一層の強化
- 特に、影響を受けやすい都市域や交通網などに重点を置いた、ドップラーレーダー等の最新観測技術などを用いた監視・予測能力の強化

シビア現象の監視及び危険度診断技術の高度化に関する研究

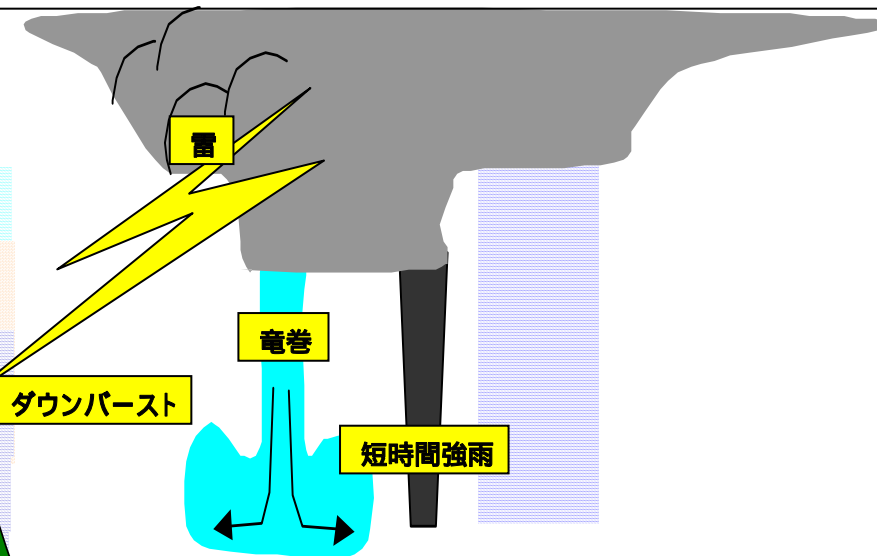
1. シビア現象に関する気象レーダー観測技術の高精度化に関する研究

気象レーダー観測の精度向上の技術開発

- ・ドップラー速度の折り返し補正
- ・降水測定精度向上
- ・セルトラッキング技術



- ・3次元データの利用
- ・地形の影響の軽減
- ・ブライトバンドへの対策

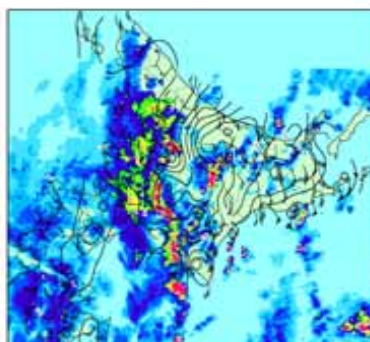


開発・検証のための事例解析・統計解析

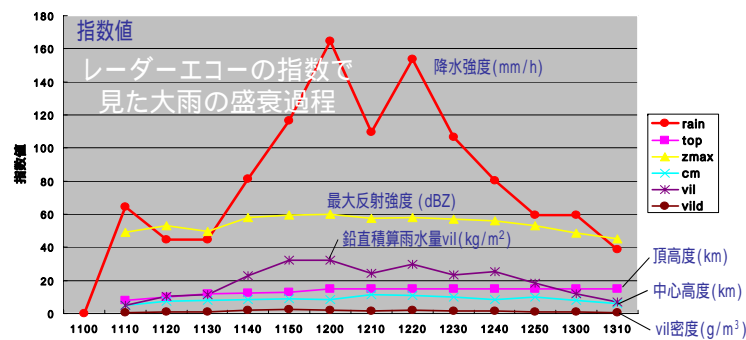


現地調査などによる解析

- 現地官署との共同現地調査により
- ・情報収集(写真等)
- ・現象の特定: 竜巻
- ・被害程度: F3
- ・被害域等の特定
- ・移動の様子などを推定。



各種観測システムによる観測・解析



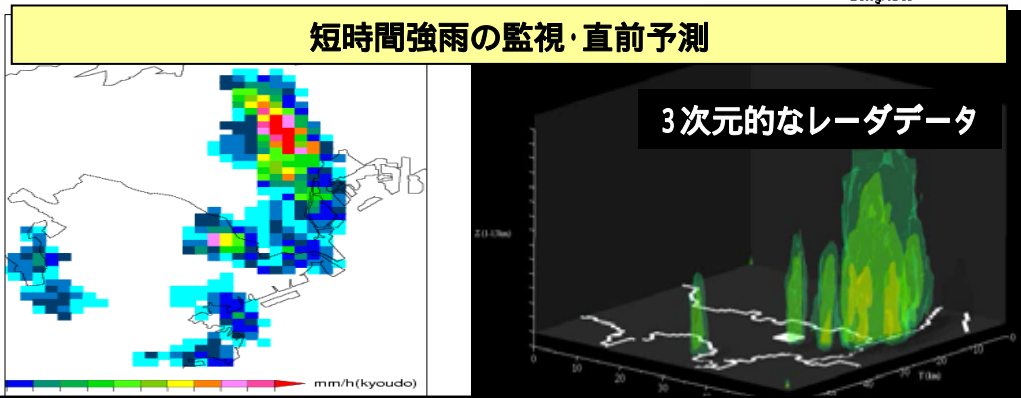
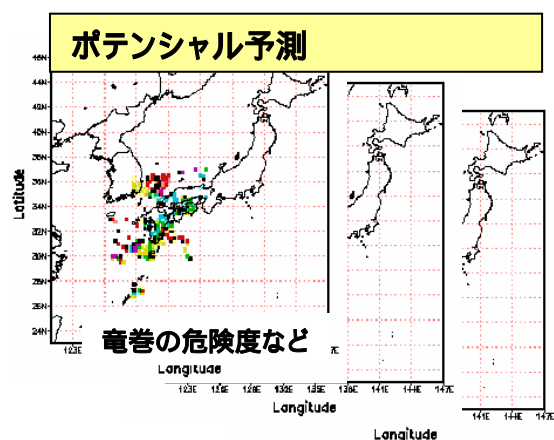
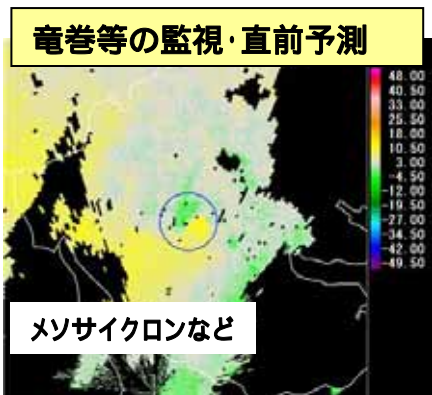
現象の特徴の解析

・基本的な観測技術の高精度化
 ・シビア現象の知見を高度化

シビア現象の監視及び危険度診断技術の高度化に関する研究

2. シビア現象の監視・直前予測技術に関する研究

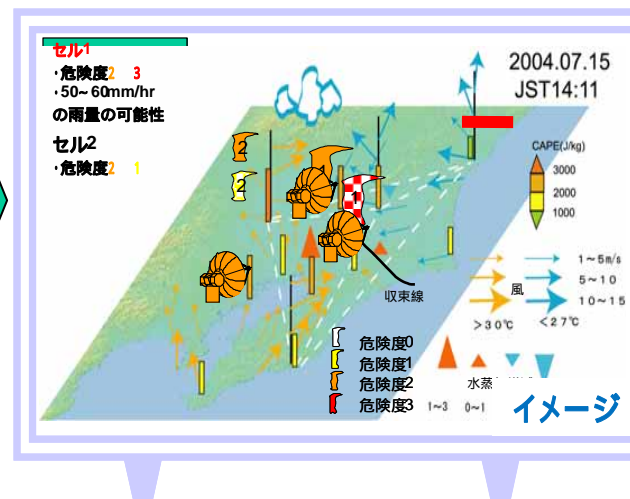
- ・竜巻等突風の監視・直前予測技術高度化
- ・短時間強雨の監視・直前予測技術開発
- ・ポテンシャル予測パラメータの開発・改良



・監視・予測技術の開発・高度化

3. アウトプット

シビア現象の監視及び直前予測を行うシステム



監視・予測技術システム
のプロトタイプ構築

期待される効果

数値予報モデルの高精度化による天気予報の精度向上と相俟って、

- 大雨の監視の強化
- 大雨に関する気象情報(注)の高精度化
- 竜巻等突風に関する注意情報の高精度化

注． 警報・注意報等